

福島第一原子力発電所事故による  
放射性物質沈着後に実施された除染作業の効果の測定

場所：茨城県立取手第一高等学校（茨城県取手市台宿2-4-1）

北緯 35 度 53 分 51 秒、東経 140 度 03 分 57 秒 標高：24m

日時：2013（平成 25）年 2 月 28 日（木曜） 10:30 - 13:00

季節：冬

天候：晴れ

測定機器：シンチレーション式サーベイメータ 日立アロカメディカル TCS-172



番	場所	1m	1cm	備考
1	駐車場・アスファルト	0.17	0.28	
2	通路・アスファルト	0.22	0.27	
3	グラウンド隅・水道と排水口	0.14	0.09	
4	法面・芝	0.10	0.09	
5	芝	0.13	0.13	
6	グラウンド中央部・土	0.12	0.15	
7	グラウンド中央部・土	0.18	0.19	
8	法面・芝	0.18	0.11	
9	グラウンド・土	0.15	0.16	
10	グラウンド・土	0.20	0.30	残存
11	芝	0.12	0.10	
12	芝	0.08	0.08	
13	芝	0.08	0.09	
14	フェンス外・芝	0.14	0.30	未除染
15	芝	0.08	0.08	
16	フェンス外・芝	0.17	0.40	未除染
17	フェンス外・芝	0.22	0.35	未除染
18	側溝・金属蓋	0.15	0.15	
19	グラウンド・土	0.13	0.12	
20	コンクリート	0.20	0.28	残存
21	2号館側溝・コンクリート蓋	0.18	0.22	
22	樹木根元・土	0.18	0.14	
23	樹木根元・土	0.18	0.12	
24	土	0.09	0.08	
25	土	0.13	0.14	

番	場所	1m	1cm	備考
26	芝・目土	0.11	0.09	
27	芝・目土	0.10	0.08	
28	芝・目土	0.11	0.09	
29	芝・目土	0.11	0.09	
30	グラウンド周辺部・新砂	0.12	0.10	
31	グラウンド周辺部・新砂	0.10	0.10	
32	芝剥ぎ取り	0.18	0.26	残存
33	グラウンド周辺部・新砂	0.16	0.15	
34	テニスコート舗装	0.18	0.22	
35	フェンス外・調整池側	0.15	0.16	
36	グラウンド周辺部・新砂	0.18	0.14	
37	グラウンド・土	0.16	0.18	未除染
38	グラウンド・土	0.14	0.15	未除染
39	グラウンド・土	0.15	0.15	未除染
40	グラウンド・土	0.22	0.38	未除染
41	ネット下・土嚢	0.17	0.19	未除染
42	アスファルト＝掃き取り後	0.21	0.28	
43	アスファルト＝掃き取り後	0.24	0.29	基準超
44	アスファルト＝掃き取り後	0.23	0.26	基準超
45	アスファルト＝掃き取り後	0.23	0.28	基準超
46	アスファルト＝掃き取り後	0.22	0.28	残存
47	アスファルト	0.18	0.24	蓄積
48	アスファルト（学校外）	0.22	0.28	蓄積
49	アスファルト（学校外）	0.14	0.18	

- 「基準超」：除染特措法の運用上、除染対象となる、高さ1mで0.23  $\mu$  Sv/hを超える地点。
- 「蓄積」：周囲に較べて、あきらかに大量の放射性物質が堆積している地点。
- 「残存」：除染作業後に高線量である地点。

とりわけ42～47は、道路清掃車によるアスファルトの除染が不十分である。